



みすみ燃ゆ ふるさとまつり2015

たくさんさんの催しでにぎわう

市内4地区で今年最初のふるさとまつりとなる「みすみ燃ゆ ふるさとまつり2015」が、10月11日(日)、三隅公民館前駐車場を会場に開催されました。



▲三隅保育園と宗頭保育園の園児によるオープニング



▲「燃ゆるリンボー」では好記録が

ド、三隅中学校吹奏楽部、チームフラオクD、三隅清風太鼓による演奏やパフォーマンスのあと、長州青組によるよさこいの披露、30秒で積み上げるかまぼこ板の数を競う「かまぼこイタワリ選手権」が行われました。続いてリンボーダンスで柔軟性を競う「燃ゆるリンボー」、豪華賞品をかけた「じゃんけん選手権」や恒例の「みすみ夢☆抽選会」が行われ、フィナーレのちまきまで多くの来場者でにぎわいました。

市内団体による約30店舗のバザーが会場内に出店、やきとりや揚げ物、焼きそばなどが販売され、来場者は多くのメニューを味わいました。



▲まつりに訪れた中国人留学生の皆さん



▲無病息災を祈って火渡りを行う

第5回楊貴妃・炎の祭典

伝説を活用し地域を活性化

楊貴妃が流れ着いたという伝説を活用したイベント「第5回楊貴妃・炎の祭典」が10月11日(日)、楊貴妃の里を会場に開催されました。

向津具小学校児童による油谷太鼓を皮切りに、向津具保育園園児による遊戯、中国人留学生による漢楽や漢舞、楊

貴妃ファンによる楊貴妃×クイズなどが行われました。祭りの圧巻「火祭り」では、大きな炎が燃え上がり会場内は荘厳な雰囲気。炎が収まると山伏姿の修験者に続き、家内安全や無病息災を祈願して来場者が次々と火渡りを行いました。

体験し地元を満喫し隊

市内の小学校5・6年生と中学生を対象に開講されている夢つなぎ塾「長門の海を満喫し隊」が10月10日(土)、11日(日)の2日間行われました。

初日は向津具地区で塩工場を見学した後、大浦西海岸の清掃活動を行いました。伊上オートキャンプ場での夕食には、「長州黒かしわ」や旬の野菜、俵山産のお米や立石産のサザエなど地元の食材を使った料理が並びました。



▲シーカヤックの乗り方を学ぶ

翌日はシーカヤックを体験

した参加者は「楽しかった、またやってみたい」と感想を話し、豊かな自然の中で地元の良さを満喫しました。

「森の名手・名人」に黄波戸の坂村さん

公益社団法人国土緑化推進機構主催「もりのくに・つぼん運動」の一環で、すぐれた技を極め他の規範となっている達人「森の名手・名人」に、桶を作る県内唯一の職人、日置上黄波戸の坂村晃さんが選ばれ、10月6日(火)、坂村さんの工場で長門農林事務所の河

村久所長から認定証が贈られました。



▲現在81歳の坂村さんは意欲的に桶製作を続ける



▲工夫をこらした衣装でかまぼこ板で卓球に挑戦する参加者

かまぼこ板で卓球に挑戦

第1回 かまぼこ板で卓球大会 in 長門湯本温泉

かまぼこが歴史上の文献に登場して900年目の今年、長門市の名産品であるかまぼこのPRを図り参加者の交流を目的とした「第1回かまぼこ板で卓球大会 in 長門湯本温泉」が10月4日(日)、ルネッサながとで開催され、市内、県内外から144組、288人が参加しました。

かまぼこ板球は、通常のラケットではなくかまぼこ板とラージボールを使ってダブル卓球を行うもので、衣装やパフォーマンスも採点されます。

試合では持ち慣れないかまぼこ板に悪戦苦闘する人が多く、派手な衣装の参加者にカメラを向ける人の姿も見られました。

集中力とスピードを競う

第28回全国健康福祉祭やまぐち大会「ねりんピックおいでませ！山口2015」の協賛イベントとして10月4日(日)、湯本観光ホテル西京で百人一首かるた交流大会が開催され、24都府県から44チーム139人が参加しました。競技に使われる札は50枚

で、先に自陣の札をゼロにした方が勝ちとなります。1チームは3人で、6ブロックに分かれて団体戦を行い、集中力とスピードを競いました。参加者は真剣な表情で読み手の声に耳を澄まし、静かな会場には札を払う音が大きく響いていました。



▲集中力とスピードが勝負の競技かるた

柳田邦男講演会

「家読」を広めていこう

ノンフィクション作家で評論家の柳田邦男氏による講演会「大人の気づき、子どもの成長」絵本・家読は心を育てる特効薬」が10月4日(日)、長門市中央公民館で開催され、市内外から約380人が参加しました。

主催した市立図書館では、子どもたちの読書の習慣を家庭にも広げ、家族で同じ時間を共有し感想を話し合うことで絆を深める「家読」を推奨しています。柳田氏は「子どもたちは、絵本の中の物語に自分を重ねて気づきを持つことで、実体験と同様に心へ深く刻まれます。家読を、地域や家庭に広めていきましよう」と話しました。



▲柳田邦男氏は「家読応援団長」として活動している

地域おこし協力隊員が制作

今年8月に長門市地域おこし協力隊(三隅地区担当)として着任した津田隊員が、今年度の自主企画の一環として制作した、三隅オリジナルデザイン「Tシャツ」および「ポロシャツ」の販売を10月8日(木)、三隅地区のアグリ中央市場で開始しました。



▲三隅への思いをデザインした津田隊員

新しい消防庁舎建設工事始まる

安全な工事を祈って

昭和47年の建築から43年が経過し、耐震性を満たし高度な情報社会への対応を図るため建て替えられる、長門市消防庁舎の建築工事起工式・安全祈願祭が9月28日(月)、新庁舎建設地で行われ、市や議会関係者、工事請負業者など約60人が出席しました。



▲安全祈願祭の様子



安心して、利用者が生活できる手助けを。

よしなが きょうか
好永 杏夏 さん

(グループホーム) きららの里/日置上黄渡戸



熱血！新鮮力

※仕事は
利用者の共同生活をサポートする介護職員として勤務しています。失礼のない話し方や接し方で、利用者にあわせた対応を心掛けています。

※長門市の好きな場所は
紅葉や桜がきれいで季節感のある大寧寺ですね。利用者との散歩でも訪れる場所です。

※就職のきっかけは
地元には高齢者が多く、小さな頃からかわいがってもらいました。今度は私がお世話できればという思いで、高校卒業後にこの職に就きました。

※今後の目標は
国家資格の取得を目標に、これからは勉強も重ねつつ、経験を積んでいきたいです。



3回目となる自然栽培米の稲刈り

「ながと成長戦略」の一環で、農薬、肥料、除草剤を一切使うことなく、稲と土が持つ本来の自然の力が発揮できるように栽培した自然栽培米の刈取りが9月23日(水)、油谷後畑の棚田で行われました。平成25年からスタートした米の自然栽培は、今年は市内

約136aの水田で行われました。大西市長をはじめ、安倍内閣総理大臣夫人の昭恵さんや大津緑洋高校日置校舎の生徒、山口県立大学の学生、地元住民など約30人が、やや柔らかな田に足を取られながらも、かまを使って稲穂を刈り取り、はげがけを行いました。



▲東後畑営農組合が栽培を行った